



デミー博士
出水 亨氏

「忘れていた感動がここにある」

皆さん、こんにちは。土木学者のデミー博士です。私たち土木関係者にとって、橋やダム、道路、トンネルといった構造物は日々の仕事の延長線上にあり、当たり前風景として見過ごしがちです。

しかし、その「当たり前」にこそ、驚きや感動、そして大きな価値が隠されていることをご存知でしょうか。写真は、高校生たちが初めて土木に触れ、感じ、カメラに収めた作品です。彼らが目を輝かせながら見つけた「土木の美しさ」や「壮大さ」、「社会を支える尊さ」を写真とともにその感想から感じ取ってください。

高校生のフレッシュな視点は、きっと皆さんの心に眠っていた「土木への誇り」や「感動」を呼び覚ましてくれるはずです。

唐津西 高校

●唐津西高校／3年
堀田 楓さん

「ミキサー車を自在に操る達人」

猛暑の中汗水垂らしながら、真剣な眼差しでミキサー車の機械を操作している魅力的な姿を写真に取りました。きつい体勢でも、長時間操作を続けている所に、仕事に対する真剣さやプライドを感じました。



●唐津西高校／3年
松本 駿さん

「チームワーク」

事前の説明で人間関係が大事だと聞いていました。そして、そのことを身にしみて感じた瞬間です。別々の会社から来た人たちが集まった現場にも関わらず、連携が取れている姿に魅力を感じました。

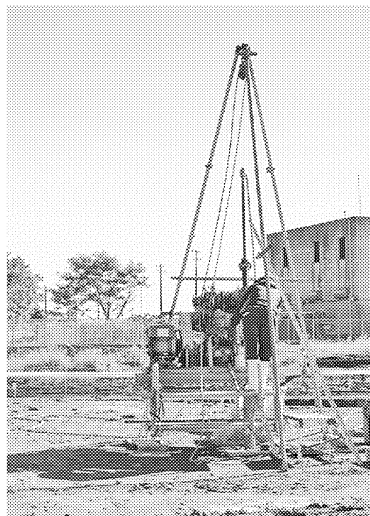


武雄高校

●武雄高校／2年
星本 京香さん

「私たちの安全を守るために」

この写真は「ボーリング調査」という地盤調査が行われているところを写したものです。この調査を行うことで、地盤の強度や状況が分かり、建築物を適切に建てる事が出来るそうです。私は建物を建てる時にこのような多くの工程が必要であることを初めて知りました。この調査のような多くの過程を経て私たちの安全な暮らしが守られているのだと改めて感じました。今回関わった全ての土木現場の方々への感謝を忘れずにこれからも生活していきたいと思います。



●武雄高校／1年
橋富 由佳さん

「計量」

この写真はボーリング調査が行われている様子です。ボーリング調査については知っていましたが、このような形で行うというのは初めて知りました。工事現場はとても広く、その分何回もボーリング調査をしないとイケないのかなと思いました。建物がこういう調査をした上で建っていることを改めて感じました。



●武雄高校／1年
田代 梓乃さん

「人の手で」

今回、初めて土木現場建設の撮影へ行きました。建設作業の多くは、機械によって長さや傾きなどを測っているのだと思っていましたが、人の手で1つ1つ作業が行われていることに驚きました。手作業で行われている1つ1つの工程を経て、町の安全が成り立っていることを身をもって実感することができました。



●武雄高校／2年
山北 京佳さん

「最先端の活用」

このショベルカーは高度なコンピューターの技術を利用して操縦が行われているそうです。土木の現場でも先端技術が使われていることを学べました。



Instagram
@seishunbuildproject

作品公開中
過去作品もみてね！

長崎・佐賀・大分の生徒作品を公開しています。

撮影会にご協力賜りました皆様へ心よりお礼申し上げます。生徒の皆様の胸にこの日の出会いと体験、そしてふるさとの風景がいつまでも輝かしく残ります事を祈念申し上げます。